

TSK 青空

2024. 4. 15
131号

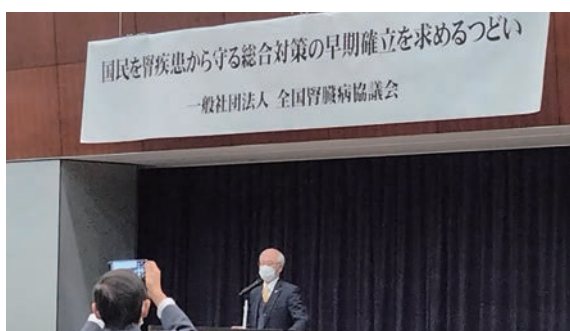
秋田県腎臓病患者連絡協議会

令和6年度定期総会特集号

☎0010-0922 秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館内（3F）

TEL 018 (863) 6210 FAX 018 (863) 6233 aki-jin@chive.ocn.ne.jp

第53次国会請願・要請行動（令和6年3月14日）



請願の集い会場



署名



御法川信英議員事務所



寺田学議員事務所



寺田静議員



金田勝年議員事務所



富樫博之議員事務所



緑川たかし議員事務所

第52回秋田県腎臓病協定期総会

議 案 書

一人ひとりが‘いのち’輝かせるために

明日への歩みとどめず

～患者会の原点に返った活動を！！～

日 時 令和6年4月28日（日）

午前10時～午後2時30分

場 所 秋田県社会福祉会館

10階 大会議室

秋田県腎臓病患者連絡協議会

総 会 次 第

10 : 00～14 : 30

1. 開会のあいさつ (10 : 00)
2. 黙祷
3. 会長あいさつ (10 : 05)
4. 来賓あいさつ
5. 祝電・メッセージ披露
6. 議長選出 (10 : 30)
7. 【討 議】
 - (1) 2023年度活動報告
 - (2) 2023年度決算報告
 - (3) 2023年度監査報告
 - (4) 2024年度活動方針 (案)
 - (5) 2024年度予算 (案)
 - (6) 新年度役員選出
 - (7) 2024年度役員紹介と役員代表のあいさつ
 - (8) 総会スローガン (案)
 - (9) 総会宣言 (案)
8. 議長解任 (11 : 30)
9. 長期透析者表彰
(45年～10年)

昼 食 ・ 休 憩

(12 : 00～12 : 40)

10. 【記念講演】 (12 : 40)
演題 「秋田で医者になるまで、なってから」
～腎臓病の患者さんと共に～
講師 仙北市西明寺診療所
所長 市 川 晋 一 先生
 11. 閉会のあいさつ (14 : 30)
-

は じ め に

会 長 村 越 正 道

令和5年度は新型コロナウイルスの扱いが5類に移行され、日常が徐々に戻って参りました。9月には大仙市で第3回「会員・家族親睦会」が4年ぶりに開催され、10月の臓器移植街頭キャンペーンを公益財団法人あきた移植医療協会様と共に実施し、第146回秋田県種苗交換会移植キャンペーンへの協力、12月17日の「腎臓病を考える集い」には仙北市西明寺診療所 所長 市川晋一先生より「慢性腎臓病の予防と対策」と題してご講演をいただき25名の方が聴講くださいました。

秋田県、秋田市、大館市、鹿角市における要望書について今年度も提出をさせていただきました。各担当者との意見交換会の開催も通常通り行うことが出来ました（秋田市を除く）。国会請願は多くの皆様のご協力を得ております。今年は当会より池田副会長、五十嵐青年部部長が議員会館に出向き請願が行われましたことをご報告申し上げます。

秋田県には透析患者さんが2,170名余りおります。新型コロナ禍前は900名から1,000名で推移していた会員数も、新型コロナウイルスが蔓延して活動が停止している間に減少を続け、ついに今年の3月末で736名まで会員が減少しました。その殆どが物故によるものですが、通常なら新規の会員さんがご入会されて、ほぼ同じ会員数を維持できていたのですが、感染防止のためチラシ配布の禁止、交流の自粛等により勧誘が滞ってしまいこの様な事態を招いてしまいました。支出が収入を上回り、経費の見直し、人件費の削減でなんとか予算は組んだものの、非常に低額の報酬で仕事をしてくださっている事務局に更に減額を強いることは大変申し訳なく思っております。

透析患者の皆様、「患者会へ加入しても、活動に参加出来ない」と加入をためらっていませんか？会員の中には、施設に入所している人、家族の介護で通院している人、車いすの人等、お体が不自由な方も大勢おられます。この方々は「会費は納めるので、私たちの代わりに活動して生活を守って下さい」と喜んでご加入頂いております。

私自身31年前に腎不全になり、埼玉の防衛医科大学校病院で実弟の提供により生体腎移植を受けました。この時秋田県腎協に個人会員として入会し、身体障害者帳の手続き、年金の申請他福祉についてご指導を賜り円滑に書類申請が出来ました。透析患者はもとより、CKDを患っている方、腎移植を受けた方へもサポートも行って参ります。是非とも入会して私たち秋田県腎協を支えてください。皆様の代わりに福祉が後退しないよう活動を展開して参ります。

平成26年透析患者の年金等級2級から3級へするという法案が上程されました。これは皆さんの年金が支給停止になる法案です。全腎協の反対活動によりこの法案はなくなりましたが、福祉の後退は現実には各所で出てきております。どうか秋田県腎協存続のため、ご自身の生活を守るためにご協力を心よりお願い申し上げます。

結びになりますが、本日ご参会の皆様、そのご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして私のあいさつとさせていただきます。

2023年度 活動報告

1 腎疾患対策の推進

(1) 行政への要望

① 「腎疾患対策に関する要望書」秋田県

7月27(木) 村越会長、佐藤事務局次長が秋田県健康福祉部疾病対策課を訪ね県知事宛に提出。

② 県担当部局との意見交換会

実施日時：R 5 年10月26日(木) 14:00～16:00

開催場所：秋田地方総合庁舎 6 F 総610会議室

出席者：村越会長、畠山・越高副会長、佐藤事務局次長

要望事項 第1 福祉医療費助成制度『マル福』の継続について

(具体的内容・理由)

県単独事業の実施により、福祉医療費助成制度において、障害者手帳1・2級、内部障害3級などについて医療費の助成を頂いております。

今後とも、この制度が継続されます事をお願い申し上げます。

【回答】

本制度は、対象者の健康保持と生活の安定を社会全体で支援するという目的で実施しているものであり、制度発足以来、本県における社会保障制度として重要な役割を果たしていると考えておりますので、今後も継続できるよう努めてまいります。

担当 健康づくり推進課国保医療室 国保医療チーム

要望事項 第2 透析患者の災害対策について

(具体的内容・理由)

県が作成した「災害時避難所運営マニュアル作成指針(R 2 年7月)」では、『高齢者・基礎疾患を有する者、障害者、妊産婦等やその家族についてそれぞれ専用の避難所を事前に設定することが望ましい』、とありますが、福祉避難所とは別に設定するというのでしょうか？

また、我々透析患者は、他の障害者と違って週3回透析のため必ず『通院』が必要となります。更に透析後、低血圧などで体調不良になる方も多くいます。このような現状を考えると、通常の避難所では対応が難しいと思われます。そこで避難所運営マニュアルに、通院が必要な障害者の対応について追加していただくことはできませんでしょうか？

【回答】

- 1 「新型コロナウイルス感染症対策としての災害時避難所運営マニュアル作成指針(R 2 年7月)」は、指定避難所を対象とした指針であるため、福祉避難所とは別に、感染予防等の観点から設置の検討をお願いしたものです。

2 避難所の運営主体は市町村であり、運営マニュアルも各市町村がそれぞれ作成しております。「通院が必要な障害者」は、福祉避難所の利用対象者である「要配慮者」と考えられ、内閣府から配布されております「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」においては、避難所の「要配慮者」については、適切な移送手段（福祉車両、救急車、一般車両等）を確保すること、「要配慮者」の症状により医療処置等が必要な場合は、医療機関に移送することが市町村に求められていることから、県としましては、避難所（指定・福祉）での「通院が必要な障害者」に対する適切な対応について、市町村に働きかけてまいります。

※「要配慮者」：災害時において、高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を必要とするもの（災害対策基本法第8条2項第15号）

「その他の特に配慮を要する者」：妊産婦、傷病者、内部障害者、難病患者等

担当 総合防災課 調整・計画・情報チーム

要望事項 第3 要介護透析患者の介護施設への入居について

（具体的内容・理由）

透析患者は病状に合わせた食事の提供や病状の急変時の対応、また透析施設への週2～3回の通院介助や送迎の負担等の問題があり、介護施設への入所が難しい状況となっているのが現状です。

令和4年3月に厚生労働省老人保健健康増進等事業での「特別養護老人ホームにおける医療ニーズに関する調査研究事業」での報告では、「透析が必要な入居者」について、8割以上の施設が「入居を断る可能性がある」としています。

令和2年9月に秋田市で開設した特別養護老人ホームでは、透析患者も積極的に受け入れて頂いておりますが、殆どの施設では透析患者は入居出来ていません。透析患者が入居可能な介護施設を増やす施策を推進して下さい。

また、R4年4月に県が行った介護保険施設へのアンケート調査に関する情報の共有をお願い致します。

【回答】

介護施設における人工透析患者の受入については、医療機関までの距離が遠いなどの物理的な問題のほか、看護師・介護士・運転手が確保できないなどの人的な問題、経費がかかり増しになるなどの金銭的な問題など、施設によって様々な事情があり、受入が可能な施設は限られているものと認識しています。

令和4年4月に当課が県内の介護保険施設に対して実施したアンケート調査では、「かかり増し経費が介護報酬に反映された場合は受入の可能性がある」と回答した施設が一定数あったことから、県では「令和6年度国の施策・予算に関する提案・要望」に、「介護施設に入所する人工透析患者への介護報酬上の配慮」を盛り込み、人工透析患者の受入によるかかり増し経費相当分の介護報酬に反映するよう要望しているところです。今後も、安心して介護を受けられる環境づくりに努めてまいります。

また、令和4年4月に県が実施した介護保険施設へのアンケート調査の集計結果について、別紙（P9）のとおり情報提供します。

担当 長寿社会課 介護保険チーム

要望事項 第4 秋田県内の透析環境の改善について

(具体的内容・理由)

H19年度から透析医師不足解消について要望しておりますが、未だに改善されておられません。県としても医師確保対策に取り組んで頂いていると思いますが、今後も引き続き取り組みを進めて下さい。

また、当会でR3年度に実施した「秋田県内透析患者実態調査」によると、「週3回・4時間」という「生きるための最低限の透析」を受けている患者が5割以上を占めていますが、4時間未満の透析の患者も3割います。

県におかれましても、県内の透析施設の治療状況を調査して頂き、患者のQOL向上のためにも透析施設へ4時間以上の透析治療を推奨して下さい。

【回答】

県内の医師数は、近年、増加傾向にあるものの、県民が県内どこに住んでいても安心して質の高い医療を受けられるためには、まだ医師の絶対数が不足しています。

また、県内で透析専門医の資格を有する医師は33人、腎臓専門医は35人と依然として十分とは言えない状況ですが、現在の制度では、個々の医師が専門とする診療科は基本的に医師個人の選択に委ねられています。

県では、将来の地域医療を担う若手医師が、透析専門医や腎臓専門医などの不足している診療科の専門医を目指していく環境づくりについて、秋田大学や病院、医師会等の関係者と協議を進めるとともに、引き続き国に対して医師の地域偏在や診療科偏在の解消に向けて制度改正を提案・要望してまいります。

担当 医務薬事課医療人材対策室 医療人材対策チーム

一般社団法人日本透析医学会の「維持血液透析ガイドライン」によると、透析時間は4時間以上が推奨されております。

県では、県内の透析施設への治療状況の実態調査の手法について検討し、必要に応じて4時間以上の透析治療について推奨してまいります。

担当 医務薬事課 政策・地域医療チーム

要望事項 第5 透析患者の通院対策について

(具体的内容・理由)

当会でR3年度に実施した「秋田県内透析患者実態調査」によると、透析患者の年齢は60歳以上が全体の8割を占め、70歳以上の割合が50%を超えており透析患者の高齢化が進んでいます。

通院についてはまだ一人で通院している人の割合が多いが、その人が一人で通院できなくなった時に通院介助してくれる人がいない割合は4割を超え、通院困難になる事が考えられます。また、誰かに付き添ってもらい通院している患者が増えており、高齢化の進行により老老世帯や単身世帯が多くなり自力での通院が困難になる事が考えられます。透析患者が安心して治療が受けられるように新しい通院助成制度の創設を検討して下さい。

【回答】

各市町村においては、医療機関への定期通院に係るバスやタクシーなどの交通費に対して助成事業が行われているところです（P10～12）。

県としましては、通院支援の状況について市町村と情報共有を図ってまいります。

担当 長寿社会課 調整・長寿社会推進チーム

要望事項 第6 慢性腎臓病（CKD）対策について

（具体的内容・理由）

私たちは県民の皆様へ、慢性腎臓病への正しい知識と対策についての啓発活動として「腎臓病を考える集い」を毎年開催しております。

県では、「秋田県糖尿病重症化予防モデルプログラム」で糖尿病患者や慢性腎臓病未治療者に対して受診勧奨を行うなどして透析予防に取り組んでいるとの事ですが、「腎臓病を考える集い」へのご支援と広報活動へのご協力をお願いします。

また、厚生労働省では慢性腎臓病（CKD）に関する正しい知識の普及啓発等を目的として、H21年度から「慢性腎臓病（CKD）特別対策事業」として補助金の助成を実施しています。これについて本県でも活用した頂きたい旨をR2年度より要望してきましたが、回答では「全国の自治体の活用状況について情報収集に努めてまいります」との事ですが、全国の活用状況について教えてください。

【回答】

「腎臓病を考える集い」については、県民に対して慢性腎臓病に関する正しい知識の普及を図るものであることから、今後も後援等により事業を支援してまいります。

また、広報活動については、市町村や保健所など関係機関へ周知を図るとともに、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」においても発信し、県民及び関係者へ広く周知を図ってまいります。「慢性腎臓病（CKD）特別対策事業」の全国の活用状況は、厚生労働省のホームページによると、令和3年度は23都道府県、7政令指定都市、11中核市で事業を活用してまいりました。

担当 保健・疾病対策課 疾病対策チーム

介護施設の人工透析患者の受け入れに関するアンケート（令和4年4月調査）の集計結果

	回答 施設数	人工透析患者の受け入れ					
		可能		不可能		その他	
特別養護老人ホーム	91	5	5.5%	51	56.0%	35	38.5%
介護老人保健施設	32	1	3.1%	25	78.1%	6	18.8%
介護医療院	4	0	0.0%	3	75.0%	1	25.0%
認知症対応型グループホーム	52	0	0.0%	32	61.5%	20	38.5%
特定施設	35	4	11.4%	14	40.0%	17	48.6%
ショートステイ	92	16	17.4%	21	22.8%	55	59.8%
合計	306	26	8.5%	146	47.7%	134	43.8%

《受け入れできない理由》

- ・通院のための運転手、付添職員の配置、車両の確保が困難。
- ・看護師、介護士の確保が困難。
- ・夜間の対応が困難。
- ・人工透析ができる医療機関が遠い。
- ・嘱託医や協力病院が専門外のため管理困難。
- ・感染予防のための専用の居室がない。
- ・栄養、水分、体重、シャント、感染等の管理が他入所者より難しい。
- ・急変時の対応が難しい。
- ・職員数がギリギリでコロナ予防対応にも人員をとられているため人手が足りない。
- ・現在すでに透析利用者がおり、これ以上の送迎対応は難しい。

《現在は受け入れ不可だが、かかり増し経費が介護報酬に反映された場合は、「受け入れの可能性があり」と回答した施設数》

- ・特別養護老人ホーム：7施設
- ・介護老人保健施設：4施設
- ・介護医療院：1施設
- ・認知症対応型グループホーム：1施設
- ・特定施設：1施設
- ・ショートステイ：4施設

【照会回答票】透析患者への移動支援実施状況調べ

透析患者への移動支援・送迎の取組状況

	市町村名	① 総合事業における取組状況		② 総合事業以外における取組状況	
		実施状況	取組の具体的内容	実施状況	取組の具体的内容
1	秋田市	2未実施		2未実施	
2	能代市	2未実施		1実施	【高齢者福祉】 ニツ井地域在住の方に限り、公共交通機関の利用が困難な方を対象に通院支援を実施。自宅～病院を福祉車両で移送。透析患者は5名が週3回利用している。 【障がい者福祉】 在宅の重度障がい者に①②を実施し、社会参加(通院・外出)を支援する。(透析患者は①②いずれか) ①タクシー利用券交付(障害者手帳1・2級等所持者) ・利用券1枚あたり初乗り料金相当額 ・月2枚(上限年24枚)※透析通院者で非課税世帯は月4枚(上限年48枚) ・R3実績:334人、7,502枚交付(使用実績4,430枚) ②自動車燃料費助成券(人工透析通院者用) ・助成券1枚あたり500円 ・月2枚(上限年24枚)※非課税世帯は月4枚(上限年48枚) ・R3実績:64人、2,226枚交付(使用実績1,881枚) 【公共交通】 透析患者を含むすべての住民の移動を支える取組として、予約制乗り合いタクシー「コサクル」や、市内巡回バスの運行を実施し、通院等に利用してもらえるよう交通網の整備を行っている。(透析通院者の利用者は把握なし)
3	横手市	2未実施	第9期計画策定にあわせて、ニーズ調査を実施し、地域の担い手について、調査予定。	1実施	①移送サービス事業(まるごと福祉課) 要介護4・5、身体障害1・2級で座位保持困難な方の医療機関受診等の際にストレッチャーやリクライニング車椅子に対応した車両による送迎を実施する。(利用者負担有) ②交通助成券交付事業(まるごと福祉課) 自家用車を持たない世帯の75歳以上の高齢者を対象に、市内の交通機関で利用できる交通助成券を年間3,000円分交付する。 ③タクシー利用券(社会福祉課) 1 身体障害者手帳1～3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかをお持ちの方に初乗り相当分のタクシー利用券を1ヵ月2枚、年間最大24枚を交付する。④との併給不可。 2 腎臓機能障がい(1～3級)で、透析治療のために週2回以上通院している、非課税世帯の方に初乗り相当分のタクシー利用券を1ヵ月4枚、年間最大48枚を交付する。④との併給不可。 ④通院交通費(社会福祉課) あらかじめの予約を受けて運行する原則として乗り合いによる交通手段。(⑥の循環バスの運行地域への乗り入れは不可。)市内タクシー会社に委託。障がい者および第1種身体障害者の介護者は料金5割引。 ⑤横手市循環バス(経営企画課) あらかじめの予約を受けて運行する原則として乗り合いによる交通手段。(⑥の循環バスの運行地域への乗り入れは不可。)市内タクシー会社に委託。障がい者および第1種身体障害者の介護者は料金5割引。 ⑥横手市循環バス(経営企画課) 横手市街地を循環するバスを運行。運賃は距離に関わらず定額(200円)。障がい者及びその介護者は100円。 ⑦横手市運転免許証自主返納サポート(経営企画課) 運転免許証を自主返納された方に市内の公共交通機関(路線バス、循環バス、タクシー、デマンド交通、代替交通、介護タクシー)で利用出来る12,000円分の回数券を1回限り交付する。
4	大館市	1実施	NPO法人おおだて福祉ねっとが田代地区で行っている移動支援(訪問型サービスD)は、要支援1・2及び基本チェック該当者(要支援・要介護リスクが高いと判断された方)を事業対象としている。行き先が病院の利用者はいるが、治療目的までは把握していない。なお、透析のための通院となると週に複数回と考えられるが、それほど頻度で利用している方はいないので、透析治療を目的とした利用はないものと考えられる。 ※事業対象者であれば、透析目的での利用も可能と思われる。	1実施	○タクシー利用助成券の交付 対象者:腎臓機能障害1～3級の身体障害者手帳の交付を受けている在宅の市民 交付枚数:26枚(10月以降の申請は13枚) 割引額:1枚につき500円 ○自動車燃料購入費助成券の交付 対象者:①腎臓機能障害1級の身体障害者手帳の交付を受け、人工透析のために自家用車で通院している在宅の市民 交付枚数:26枚(110月以降の申請は13枚) 割引額:1枚につき500円
5	男鹿市	2未実施		1実施	○重度身体障がい者の通院費助成 対象者: 本市に居住地を有し、身体障害者手帳の交付を受け、障害程度が1級又は2級以上の方が対象 内容: 1 タクシーを利用する場合 ひと月2枚を限度に、タクシー券を年間24枚交付し、最大で年額16,800円までを助成 2 自家用自動車を利用する場合 上記の対象者欄にある事項に該当する方で、腎臓機能障害により身体障害者手帳の交付を受け、かつ週2回以上人工透析のため医療機関に通院している方を対象とし、ひと月につき1,400円、年額16,800円を限度に燃料の給油に要した額を助成 3 バス回数券・バス定期券購入の助成を受けようとする場合 上記の対象者欄にある事項に該当する方で、腎臓機能障害により身体障害者手帳の交付を受け、かつ週2回以上人工透析のため医療機関に通院している方を対象とし、年額16,800円を助成
6	湯沢市	2未実施		1実施	介護保険法に規定する要介護認定3以上の方、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する障害支援区分4以上の方は、事前に本事業への利用登録を行い、登録証の提示で、タクシー料金が課税世帯は半額、非課税世帯は1/4となります。 身体障害者手帳等をお持ちの方は各種交通機関の割引を受けられます(割引率は乗り物や手帳の種別で異なります)。 また、身体障害者手帳等をお持ちの方に対しては移動費用の助成もあります(1Kmあたり10円 登録者数:26名(R5.8現在))
7	鹿角市	2未実施		1実施	鹿角市人工透析患者通院交通費助成事業により、腎臓機能障害で身体障害者手帳を有する者に対して、人工透析にかかる通院交通費を助成している。 助成額は、通院交通費の実支出額(交通機関による場合は運賃の額、自家用自動車による場合は1キロあたり15円で計算した額)と、通院距離で定める基準月額と比較して低い額。 利用者は30人程で、月6回程度の通院をしている。

由利本荘市	2未実施		1実施	福祉支援課 【人工透析通院交通費助成事業】 人工透析の治療を継続的に受ける必要がある方に、通院距離に応じて通院費用の一部を助成費している。 内容：対象通院距離及び助成月額 5km以上10km未満月額2,000円、10km以上20km未満月額3,000円、20km以上30km未満月額4,000円、30km以上月額5,000円 R4年度実績：利用者36人 【タクシー券交付】 身体障害者手帳3級以上の方にタクシー券を交付(1月当たり2枚相当分) 令和4年度実績：交付者264人
潟上市	2未実施		2未実施	【重度身体障害者(人工透析患者)通院費補助金】社会福祉課 (対象者) 市に住所を有するもので、前年分の世帯所得税(1月から6月までの間は前々年分)12万円以下で、腎臓機能障害により、身体障害者手帳1級の交付を受け、人工透析の通院加療を月8回以上受けている方。 (補助金額) 月5,000円 申請された通院月の分について支給。 【公共交通】地域づくり課 潟上市内を循環するマイタウンバスを運行。運賃は一回の乗降につき、大人100円、子供50円。 ただし、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示で無料。 (透析患者の利用者数の把握はなし)
大仙市	2未実施		1実施	【障がい福祉】 ①タクシー・バス利用券交付 在宅の障がい者などの経済的負担の軽減と福祉の増進を図るため、タクシー・バス利用券を交付。 ・対象者(施設入所者は除く) ・身体障がい者手帳1～2級、療育手帳A、精神障がい者保健福祉手帳1級をお持ちの方 ・交付金額 年間12,000円分(額面100円券×120枚) ②人工透析通院費の助成 腎臓の機能に障がいがある方が、人工透析を受けるために通院に要した交通費の一部を助成。 ・対象者 居住地から医療機関までの距離が片道5Km以上の方、 タクシー・バス利用券の給付を受けていない方 ・助成額 居住地から医療機関までの往復距離数×通院回数×1Kmあたり10円 ※①と②の併給不可
北秋田市	2未実施		1実施	【高齢者障害者等外出支援サービス】 おおむね65歳以上の方で、歩行が困難でストレッチャーや車いすが常時必要な高齢者や障がい者等で、公共の交通機関の利用が困難な状態の方の通院・外出等の送迎を行う。利用範囲は病院への通院・買い物、墓参り、敬老式等の地域行事、冠婚葬祭、理美容院、選挙、各種届出用務等。 ■利用登録者数及び利用実人数(令和3年12月末時点) ① 高齢者 登録者数 181人 実人数 118人 ② 障害者 登録者数 51人(うち透析 7人) 実人数 32人(うち透析 6人)
にかほ市	2未実施		1実施	1.高齢者 「外出支援サービス事業」 次の対象の方の医療機関への送迎を援助している。65歳以上の一人暮らしの要介護高齢者等で一般の交通機関を利用することが困難であり、市内に子・親族等支援者がいない低所得の方。ただし、生活保護費受給者を除く。 利用回数は市内：年12回(月1回)、市外：年5回。 現在のところ、透析治療のための利用者は無し。 2. 障がい者 「にかほ市障がい者交通費助成事業」 人工透析のために週2回以上通院している人に対し、交通費の一部を助成。片道の距離に応じた月額を4カ月毎に支給。施設の送迎等、他の助成を受けていないことを条件としている。 「タクシー券の助成」 にかほ市の在宅の人で、腎臓等の傷害にて障害者手帳の交付を受けており、等級が1～3級の人に対し、タクシー小型車初乗運賃相当額のタクシー券を交付している。
仙北市	2未実施		1実施	【人工透析通院費支給事業】 人工透析治療を受けるため、自宅から医療機関へ通院している方へ交通費の一部を助成する。 ・週2回以上通院し自宅から医療機関まで往復3キロ以上ある方 ・ご自分の運転又は家族等の運転で通院されている方 支給月 年2回 3月分～8月分 9月支給 9月分～2月分 3月支給 支給額 医療機関までの往復距離×通院回数×1キロあたり10円 *利用人数 31名 (R5.7末時点) *問合せ先 社会福祉課 0187-43-2288
小坂町	2未実施		1実施	①外出支援サービス事業 一般の交通機関の利用が困難な寝たきりの高齢者や障がい者を対象に、居宅と医療機関等への送迎を行うもので事業を委託し実施している。また、人工透析治療者で短期入所を利用している者についても対象となる。人工透析治療者の利用状況について、昨年度実績なし。 外出支援サービス事業の利用は週1回または月4回までで、利用料は無料。また、②との併用も可能。 ②小坂町福祉タクシー券(障害者支援) 在宅の障害者を対象に、タクシーの初乗り料金を助成するもので、1年間で48枚利用できる。人工透析治療者の場合は、タクシー券の他に燃料券(1枚700円分×1年間48枚)を選ぶことが出来る。 令和4年度利用者数…透析治療のための利用者8名(タクシー券1名、燃料券7名)
上小阿仁村	2未実施		1実施	障害者地域生活支援事業の移動支援事業について、介護サービスと同様の外出支援サービスが受けられるほか、村が行うバスの定期券に対する補助でも支援を行っている。
藤里町	2未実施		1実施	事業名…藤里町治療継続支援事業 事業内容…人工透析の治療を継続的に受ける必要のある者の負担を軽減するための支援 (電話補足：定額で現金1万円/月を助成。使途は交通費に限らないが、交通費負担を軽減する意図がある。) 対象者…藤里町内に住所を有し、人工透析治療のため、週に2回以上自宅から通院している者 利用者数…8人

17	三種町	2未実施		1実施	(1) 三種町外出支援サービス事業 一般交通機関利用することが困難な在宅高齢者等(透析患者は年齢制限なし)を対象に、リフト付きワゴン車を利用した移動支援サービスを行っている。 透析治療患者の利用可能日は、月曜日から土曜日まで(祝日及び年末年始を除く)。ただし日常の移動に常時車椅子を使用する必要がある者については、年末年始も利用することができる。 (2) 三種町特定疾病受領者通院費等助成事業 人工透析治療のため三種町外の医療機関に1月に8回以上通院し、交通費として他の公的助成を受けていない三種町民に対し、月額6,000円を助成する。 (※注) 1 9月16日以降公開情報 (3) 三種町特定疾病受領者通院費等助成事業(R5年9月一部要綱改正予定の内容) 三種町外出支援サービスを利用している人工透析治療を必要とする方が、年末年始に外出支援サービスを使えないことにより通院または入院する場合、2万円を上限に次の額を助成する。 ①通院の場合 通院に要する費用から1,600円を除いた額 ②入院の場合 入院に要する費用から他の給付金等を除いた額
18	八峰町	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし
19	五城目町	2未実施		1実施	腎臓機能障害を有し、人工透析療法による医療の給付を受けている者を対象に、町単独で通院移送費を助成している。 1. タクシー利用の場合 ひと月あたり12枚、年間最大144枚のタクシー利用券を交付(基本料金部分の助成) 2. タクシー以外の場合 役場から医療機関までの往復距離×10円(1kmあたり10円)×通院回数で算出された金額を助成 ※R5.8月時点の給付決定者は11名である。
20	八郎潟町	2未実施		1実施	①八郎潟町通院タクシー事業 在宅の要介護高齢者または身体障がい者等に対し、タクシー以外の交通機関を利用することが困難なために、通院時にタクシーを利用した場合、その料金の1部を1枚500円の利用券として補助します。 ●対象者: 要介護1以上、身体障がい者手帳1級～3級、下肢に障がいのある方、療育手帳A所持者。 ②南秋地域広域デマンド型乗合タクシー 他の利用者と同乗しながら、湖東厚生病院(人工透析設備あり)を含む路線で運行するタクシーです。利用には事前予約が必要になります。ご自宅までの送迎を希望の方は登録が必要です。 ●利用料金: 300円/回 ①、②ともに透析治療を目的とした利用状況は不明ですが、利用可能です。
21	井川町	2未実施		1実施	○障害者福祉 【人工透析患者通院費助成事業】 町内に住所を有し、「じん臓機能障害」の障害者手帳を所持している者が自身の運転又は家族等の運転による通院、公共交通機関を利用して通院している者が対象。 助成額は交通手段の種類を問わず、医療機関ごとに役場からの片道距離に応じて100円～700円の金額を設定。年3回、前月までの4か月分をまとめて申請してもらっている。 R4時点で利用者は7名
22	大潟村	2未実施		1実施	【じん臓機能障がい者等通院交通費支援事業】 じん臓又はその他の身体機能に継続的な治療を施さなければならない方が自家用車又はタクシーを利用して通院する場合の交通費の一部を助成する。 以下の要件全てに該当する者が対象 (1) 大潟村に居住し、住民登録をしている者 (2) 生活保護法による医療扶助の移送費等の助成を受けていない者 (3) 自立支援医療(更生医療・育成医療)の受給者で「重度かつ継続」に該当する方かつ特定疾病療養受給者証の交付を受けている者、またはそれに準ずる者 (4) 医師から週2回以上の通院支持を受けている者 扶助額は、タクシーを利用している者はタクシー利用料金、自家用車の場合は、通院回数に通院距離の区分に応じた扶助単価を乗じて得た額。 【令和4年度実績】2名
23	美郷町	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし
24	羽後町	2未実施		1実施	人工透析を受けるための通院に要する費用の負担軽減を図ることを目的に、「人工透析通院援護費」を支給している。 支給額は、自宅から人工透析を受ける医療機関までの路線距離に1キロメートル当たり37円を乗じて得た額。 R4実績・・・31名 ※補足 申請は本人から当初の1回のみ(毎月ではありません)。支給は毎月、利用実績に基づいて事後にしています。回数(通院日数)は町が毎月医療機関に対して書面で照会しています。利用上限は無し。
25	東成瀬村	2未実施		1実施	障害者通院費助成事業 【事業内容】 腎臓の機能に障害を有する方が、医療機関において血液透析療法の治療を受けるため、医療機関への通院に要した交通費の一部を助成する。 【助成金額】 1人1か月あたり9,000円 【利用者数】 R3年度実績 3人 【財源】 村一般財源

秋田県内透析施設別状況一覧（令和5年11月30日時点）

有=1、無=0

圏域		医 療 機 関 名	人工透析患者数(人)			人工臓臓装置の状況(台)				整備計画				透析可能患者数		夜間透析有無
			血液透析	腹膜透析		単身用	多人数用			有無	単身用	多人数用		同時透析数	1日最大透析数	
				自宅	院内		供給装置許容人数(人)	供給装置(台)	患者監視装置			透析液供給装置	患者監視装置			
大館・鹿角	1	かづの厚生病院	74	1	0	2	25	1	22	0				24	96	0
	2	秋田労災病院	20	0	0	1	20	1	16	0				16	25	0
	3	大館市立総合病院	114	0	0	2	50	1	31	0				33	66	0
		森田泌尿器科（廃止）														
		小 計	208	1	0	5	95	3	69	0	0	0	0	73	187	0
北秋田	4	北秋田市民病院	48	7	0	6	30	1	20	0				26	52	
		小 計	48	7	0	6	30	1	20	0	0	0	0	26	52	0
能代・山本	5	工藤泌尿器科医院	61	0	0	0	50	1	34	0				34	34	0
	6	独立行政法人地域医療機能推進機構 秋田	45	0	0	2	50	1	22	0				22	22	0
	7	能代厚生医療センター	77	1	0	5	50	1	24	0				29	58	0
	8	能代山本医師会病院	7	0	0	6	0	0	0	0				6	11	0
		ミナトクリニック（実績無）														
		小 計	190	1	0	13	150	3	80	0	0	0	0	91	125	0
秋田 周辺	9	秋田厚生医療センター	130	0	0	4	40	2	49	0				50	90	1
	10	秋田赤十字病院	73	2	0	1	30	1	30	0				30	60	1
	11	秋田大学医学部附属病院	6	1	0	1	20	1	8	0				9	18	0
	12	秋田泌尿器科クリニック	57	0	0	0	40	1	22	0				22	44	0
	13	秋田南クリニック	76	0	0	0	30	2	46	0				46	92	0
	14	飯島透析クリニック	63	0	0	0	40	1	24	0				24	48	0
	15	いしやま内科腎クリニック	72	0	0	1	30	1	27	0				27	40	0
	16	おのば腎泌尿器科クリニック	63	0	0	0	30	1	22	0				22	66	0
	17	さが医院	78	0	0	0	30	1	29	0				29	51	0
	18	社会医療法人明和会 中通総合病院	43	1	0	7	50	1	25	0				32	37	0
	19	地方独立行政法人市立秋田総合病院	67	13	0	3	50	1	22	0				25	50	1
	20	清和病院	65	0	0	0	60	1	23	0				23	46	0
	21	医療法人杜の樹 立木医院	105	0	0	1	50	1	33	0				34	68	1
	22	石田医院	10	0	0	0	40	1	9	0				9	18	0
	23	男鹿みなと市民病院	21	0	0	1	30	1	12	0				13	26	0
	24	藤原記念病院	41	0	0	17	0	0	0	0				17	22	0
	25	湖東厚生病院	15	0	0	2	8	1	1	0				10	15	0
		小 計	985	17	0	38	578	18	382	0	0	0	0	422	791	4
由利・本荘・にかほ	26	佐藤病院	3	0	0	4				0				4	8	0
	27	清水泌尿器科内科医院	58	0	0	2	40	1	22	0				24	48	1
	28	本荘第一病院	11	0	0	0	20	1	14	0				14	28	0
	29	由利組合総合病院	90	7	0	5	50	1	24	0				28	84	1
	30	きさかたクリニック	26	0	0	0	30	1	12	0				12	24	0
		小 計	188	7	0	11	140	4	72	0	0	0	0	82	192	2
大仙・仙北	31	大曲厚生医療センター	99	4	0	2	50	1	28	0				30	60	1
		大曲中通病院(R3. 3. 31透析取下)														
	32	花園病院	54	0	0	1	50	1	18	0				19	38	0
	33	こまち透析クリニック	50	0	0	0	40	1	19	0				19	38	0
	34	市立角館総合病院	56	0	0	1	50	1	22	0				23	6	0
		小 計	259	4	0	4	190	4	87	0	0	0	0	91	142	1
横手	35	こはま泌尿器科クリニック	18	0	0	0	20	1	12	0				12	20	0
	36	市立横手病院	45	0	0	1	50	1	14	0				15	45	1
	37	JA秋田厚生連 平鹿総合病院	71	6	0	2	30	1	25	1			6	25	50	1
		小 計	134	6	0	3	100	3	51	1	0	0	6	52	115	2
湯沢・雄勝	38	たかぎファミリークリニック	27	0	0	0	70	1	24	0				24	24	0
	39	雄勝中央病院	70	0	0	5	50	1	35	0				40	100	1
	40	医療法人せいとく会菅医院	12	0	0	0	20	1	10	0				10	10	0
	41	医療法人尚仁会 松田記念泌尿器科クリニック	43	0	0	0	30	1	18	0				18	36	1
		小 計	152	0	0	5	170	4	87	0	0	0	0	92	170	2
			2164	43	0	85	1453	40	848	1	0	0	6	929	1774	11

人工透析患者及び人工腎臓装置設置状況等に関する調査結果 令和5年11月30日時点

1. 居住地別人工透析患者数 （単位：人）

医療圏 市町村	血液 透析	腹膜透析		計
		自宅	病院	
大館・鹿角	213	2		215
鹿角市	64	1		65
大館市	138	1		139
小坂町	11			11
北秋田	56	6		62
北秋田市	54	6		60
上小阿仁村	2			2
能代・山本	182	1		183
能代市	115			115
藤里町	9			9
三種町	49	1		50
八峰町	9			9
秋田周辺	937	17		954
秋田市	744	16		760
男鹿市	72			72
潟上市	66	1		67
五城目町	25			25
八郎潟町	13			13
井川町	12			12
大潟村	5			5
由利本荘・にかほ	198	7		205
由利本荘市	153	5		158
にかほ市	45	2		47
大仙・仙北	267	4		271
大仙市	183	4		187
仙北市	54			54
美郷町	30			30
横手	175	5		180
横手市	175	5		180
湯沢・雄勝	124	1		125
湯沢市	87	1		88
羽後町	36			36
東成瀬村	1			1
秋田県 計	2,152	43		2,195

2. 人工透析の実施施設

年度	R2	R3	R4	R5
施設数	43	41	41	41

3. 人工腎臓装置

単身用

年度	R2	R3	R4	R5
単身用装置	100	91	91	85

多人数用

年度	R2	R3	R4	R5
透析液供給装置	41	43	43	40
患者監視装置	833	840	840	848

4. 夜間透析の実施施設

年度	R2	R3	R4	R5
施設数	14	12	12	11

※県外在住で、秋田県で透析を受けている患者数

血液透析	12人
腹膜透析	0人

※秋田県内外の透析患者

計	2,207
---	-------

人工腎臓装置の設備状況（令和5年度11月30日時点）

人工腎臓装置の整備状況

医療圏名	透析 患者数	多人数用 ※1		単身用 ※2	計 ※3	不足値 ※4
		透析 装置	患者 監視 装置	透析 装置	整備 台数	患者数 ÷ 整備台 数
		設備 台数	整備 台数	設備 (整備) 台数		
	①	②	③	④	⑤	①/⑤
大館・鹿角	215	3	69	5	74	2.91
北秋田	62	1	20	6	26	2.38
能代・山本	183	3	80	13	93	1.97
秋田周辺	954	18	382	38	420	2.27
由利本荘・にかほ	205	4	72	11	83	2.47
大仙・仙北	271	4	87	4	91	2.98
横手	180	3	51	3	54	3.33
湯沢・雄勝	125	4	87	5	92	1.36
計	2,195	40	848	85	933	2.35

- ※1 1台で複数患者の透析液をまとめて作成し、ベッドサイドに設置する患者監視装置を経て透析を行うため、整備台数は患者監視装置の台数としている
- ※2 1台の装置で透析液を患者毎に作成して透析を行うため、設備台数と整備台数は同じとしている。
- ※3 患者監視装置③と単身用透析装置④の合計
- ※4 不足値が2以上の地域が「人工腎臓装置不足地域」である

③ 「腎疾患対策に関する要望書」 秋田市

9月26日（火）村越会長と中央地域腎友会の佐藤事務局長が小木田市議会議員同席のもと秋田市長宛に鎌田副市長へ直接提出

④ 「腎疾患対策に関する要望書」 大館市

9月5日（火）北秋鹿角地域腎友会の畠山会長と佐藤圭介事務局長が大館市長宛に提出

10月19日（木）北秋鹿角地域腎友会の畠山会長他7名出席のもと大館市関係各部局と意見交換会を実施

⑤ 「腎疾患対策に関する要望書」 鹿角市

10月24日（火）北秋鹿角地域腎友会の畠山会長とかづの厚生病院腎友会4名で鹿角市長宛に提出

12月19日（火）北秋鹿角地域腎友会の畠山会長他4名出席のもと鹿角市関係各部局と意見交換会を実施

(2) 腎移植推進キャンペーン、普及啓発活動の推進**① 街頭キャンペーン（秋田駅ぽぽろード）**

10月1日（日）参加者14名（内県腎協より2名）。ティッシュの配布

② 種苗交換会におけるキャンペーン（潟上市）

11月4日（土）参加者1名、11月5日（日）参加者2名
移植に関するアンケートの実施及びティッシュの配布

(3) 社会貢献活動**腎臓病を考える集い（第47回）**

日 時：12月17日（日）14：00～15：30

場 所：青少年交流センターユースパル 2F 大研修室

演 題：「慢性腎臓病の予防と対策」

講 師：仙北市西明寺診療所 所長 市川 晋一 先生

参加者：25名（腎臓病患者3名、糖尿病患者1名、患者家族2名、透析患者4名、一般13名、他2名）

(4) 学習会の開催**① 第34回「腎臓病学習会」 大館市**

日 時：11月19日（日）13：30～15：00

場 所：大館市立中央公民館 1F 第1・2研修室

演 題：「リン・カリウム・水分、摂り過ぎるとなぜ悪い？」

講 師：公益社団法人秋田県臨床工学技士会 佐藤 求 様（かづの厚生病院）

参加者：39名（患者30名、家族6名、技士1名、一般2名）

② 第35回「腎臓病学習会」能代市

日 時：11月26日（日）13：30～15：00

場 所：能代中央公民館 2F 視聴覚室

演 題：「透析治療のあれこれ」

講 師：秋田県腎臓病患者連絡協議会 会長 村越 正道

参加者：21名（患者11名、家族5名、一般5名）

(5) 第53次国会請願署名・募金活動

R 6 年 3 月 14 日 県腎協役員代表が、議員会館の議員を訪ね署名用紙を提出

2 組織強化の取り組み

会員の増強

全国的に組織率が低下してきており、現在30%を下回る組織率です。秋田県腎協では、2022年度末では35.7%の組織率ですが、全腎協の主旨に賛同し2023年度は50%を目標に会員の増強を図りました。

組織対策委員会を中心として新規会員獲得に向けてチラシ作成や会員募集強調月間を4月と10月の年2回実施しました。

【具体的推進方法】

- (1) 入会用チラシ・ポスター等の作成配布（4月、10月）
- (2) 入会者への特典（本年度新規会員加入の方）
 - ①透析を始める人のためのガイドブック [500円] の贈呈
 - ②元気な暮らしガイド ③災害手帳

3 秋田県内の透析医療状況の把握

秋田市内の総合病院の勤務医が、R 6 年の春頃を目途に秋田市内に透析施設を開設予定（医師本人が事務局へ来訪）。

4 全腎協北海道・東北ブロック交流会及びブロック会議

- ・ブロック交流会in山形（かみのやま温泉）

7月22日（土）～23日（日）86名（秋田県より10名参加）
- ・ブロック会議

第1回 4月22日（日）Webにて実施。（秋田県より2名参加）
第2回 7月22日（土）山形市上山（秋田県より2名参加）
第3回 3月18日（土）仙台市（秋田県より2名参加）

5 全腎協青年研修会

8月27日（日）Web（Zoom）にて実施。（秋田県より1名参加）

6 会員・家族の親睦会

9月24日（日）大曲エンパイヤホテル（大仙市）34名参加

7 広報活動の充実

- ・機関誌「青空」 128号発行（4月15日）
129号発行（9月15日）
130号発行（1月15日）
- ・事務局ニュース R5-01号発行（4月）
R5-02号発行（4月）
R5-03号発行（9月）
R5-04号発行（7月）
R5-05号発行（1月）
R5-06号発行（1月）

8 災害対策

第7回「行政・医療関係者・患者団体の三者懇談会」
行政側の能登半島地震への対応により開催延期

令和 6 年度 活動日誌

日 付	曜日	活 動 内 容	活 動 者
4 月 9 日	日	第 1 回三役会議 R 4 年度会計監査	村越、畠山、越高、池田、佐藤（圭）、 佐々木、佐藤
4 月 16 日	日	第 1 回運営委員会	
4 月 22 日	土	第 1 回北海道・東北ブロック会議（W e b）	村越、佐藤
4 月 30 日	日	第52回定期総会	54名参加
5 月 21 日	日	第 2 回運営委員会	
6 月 4 日	日	第 2 回三役会議	村越、畠山、越高、池田、佐藤
6 月 7 日	水	身障団体連絡協議会定例会	村越
6 月 23 日	金	社会福祉会館 入居団体総務担当者会議	佐藤
6 月 24 日	土	全腎協定時社員総会～25日	村越
7 月 9 日	日	第 3 回三役会議	村越、畠山、越高、池田、佐藤
7 月 21 日	金	今川雄策県議会議員と要望書に関する打合せ	村越、佐藤
7 月 22 日	土	第 2 回北海道・東北ブロック会議 全腎協北海道・東北ブロック交流会in山形～23日	村越、池田 秋田県より10名参加
7 月 27 日	木	秋田県知事宛「腎疾患対策に関する要望書」提出	村越、佐藤
8 月 6 日	日	第 4 回三役会議	村越、畠山、越高、池田、佐藤
8 月 27 日	日	全腎協青年研修会（W e b）	五十嵐
9 月 3 日	日	第 5 回三役会議	村越、畠山、池田、佐藤
9 月 5 日	火	大館市長宛「腎疾患対策に関する要望書」提出	畠山、佐藤（圭）
9 月 17 日	日	第 3 回運営委員会	
9 月 24 日	日	会員・家族親睦会	34名参加
9 月 26 日	火	秋田市長宛「腎疾患対策に関する要望書」提出	村越、佐藤
10 月 1 日	日	臓器移植推進街頭キャンペーン	村越、佐藤
10 月 8 日	日	第 6 回三役会議	村越、畠山、越高、池田、佐藤
10 月 22 日	日	第 4 回運営委員会	
10 月 26 日	木	秋田県各関係部局との意見交換会	村越、畠山、越高、佐藤
10 月 29 日	日	第85回全県幹事会	
10 月 31 日	火	署名依頼訪問（東北電力総連、連合秋田）	村越、佐藤
11 月 4 日	土	種苗交換会での移植推進キャンペーン ～ 5 日	越高（11/4）、村越・八端（11/5）
11 月 7 日	火	署名依頼訪問（ニプロ、ニプロファーマ）	畠山、佐藤
11 月 14 日	火	〃 （情報労連）	佐藤
11 月 19 日	日	第34回腎臓病学習会（大館市）	村越、佐藤
11 月 26 日	日	第35回腎臓病学習会（能代市）	村越、畠山、佐藤
11 月 30 日	木	秋田県社会福祉会館入居団体総務担当者会議	佐藤
12 月 7 日	木	第 7 回三役会議	畠山、越高、佐藤
12 月 17 日	日	第47回「腎臓病を考える集い」	越高、五十嵐、佐藤
12 月 24 日	日	第 5 回運営委員会	
1 月 11 日	木	第 8 回三役会議	村越、畠山、越高、池田、佐藤
1 月 21 日	日	第 6 回運営委員会	
2 月 8 日	木	第 9 回三役会議	村越、畠山、越高、池田、佐藤
3 月 7 日	木	第10回三役会議	村越、畠山、越高、池田、佐藤
3 月 10 日	日	第 7 回運営委員会	
3 月 14 日	木	第53次国会請願	池田、五十嵐
3 月 16 日	土	第 3 回北海道・東北ブロック会議（仙台）	村越、佐藤
3 月 24 日	日	第86回全県幹事会	

秋田県腎協 組織率進捗表

令和 6 年 3 月末

		2021年度末実績			2022年度末実績			2023年度末実績		
	名 称	総患者数	会員数	組織率	総患者数	会員数	組織率	総患者数	会員数	組織率
北秋・鹿角	か づ の 厚 生 病 院	68	24	35.3%	73	21	28.8%	74	19	25.7%
	秋 田 労 災 病 院	18	12	66.7%	23	14	60.9%	20	15	75.0%
	大 館 市 立 総 合 病 院	92	47	51.1%	118	74	62.7%	114	72	63.2%
	森 田 泌 尿 器 科	48	31	64.6%	—	—	—	—	—	—
	北 秋 田 市 民 病 院	29	27	93.1%	41	27	65.9%	48	25	52.1%
能代・山本	J C H O 秋 田 病 院	42	3	7.1%	42	3	7.1%	45	3	6.7%
	工 藤 泌 尿 器 科 医 院	67	20	29.9%	58	22	37.9%	61	22	36.1%
秋田中央	藤 原 記 念 病 院	34	34	100.0%	40	31	77.5%	41	28	68.3%
	湖 東 厚 生 病 院	13	8	61.5%	13	6	46.2%	15	7	46.7%
	秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー	137	40	29.2%	141	35	24.8%	130	34	26.2%
	秋 田 赤 十 字 病 院	78	40	51.3%	73	36	49.3%	73	28	38.4%
	秋 田 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	56	19	33.9%	61	20	32.8%	57	18	31.6%
	秋 田 南 ク リ ニ ッ ク	76	13	17.1%	78	16	20.5%	76	12	15.8%
	市 立 秋 田 総 合 病 院	69	25	36.2%	66	24	36.4%	67	20	29.9%
	中 通 総 合 病 院	44	12	27.3%	47	11	23.4%	43	10	23.3%
	おのば腎泌尿器科クリニック	64	48	75.0%	62	43	69.4%	63	39	61.9%
	いしやま内科腎クリニック	67	38	56.7%	73	37	50.7%	72	41	56.9%
	立 木 医 院	98	47	48.0%	98	41	41.8%	105	43	41.0%
	さ が 医 院	78	32	41.0%	82	28	34.1%	78	34	43.6%
	飯 島 透 析 ク リ ニ ッ ク	55	10	18.2%	60	11	18.3%	63	—	—
本荘・由利	清 水 泌 尿 器 科 内 科 医 院	56	20	35.7%	65	21	32.3%	58	20	34.5%
	由 利 組 合 総 合 病 院	81	27	33.3%	87	30	34.5%	90	34	37.8%
	き さ か た ク リ ニ ッ ク	27	5	18.5%	27	5	18.5%	26	1	3.8%
大曲・仙北	大 曲 厚 生 医 療 セ ン タ ー	100	72	72.0%	100	69	69.0%	99	59	59.6%
	花園病院(こまち透析クリニック)	104	39	37.5%	89	38	42.7%	104	34	32.7%
	市 立 角 館 総 合 病 院	60	36	60.0%	58	30	51.7%	56	30	53.6%
横手	市 立 横 手 病 院	50	17	34.0%	53	17	32.1%	45	13	28.9%
	こはま泌尿器科クリニック	22	13	59.1%	22	11	50.0%	18	8	44.4%
	平 鹿 総 合 病 院	80	16	20.0%	76	13	17.1%	71	9	12.7%
	たかぎファミリークリニック	—	—	—	10	5	50.0%	27	6	22.2%
湯沢・雄勝	雄 勝 中 央 病 院	81	41	50.6%	81	32	39.5%	70	—	—
	松田記念泌尿器科クリニック	53	22	41.5%	55	18	32.7%	43	17	39.5%
	菅 医 院	18	6	33.3%	11	3	27.3%	12	3	25.0%
	個 人 会 員	8	8	100.0%	9	9	100.0%	32	32	100.0%
腎友会未結成	能 代 厚 生 医 療 セ ン タ ー									
	男 鹿 み な と 市 民 病 院									
	秋 田 大 学 医 学 部 付 属 病 院									
	清 和 病 院									
	佐 藤 病 院									
合 計		1,973	852	43.2%	1,992	801	40.2%	1,996	736	36.9%

	全県透析患者数	会 員 数	全 県 組 織 率
2021年度末・秋田県組織率	2,186	852	39.0%
2022年度末・秋田県組織率	2,243	801	35.7%
2023年度末・秋田県組織率	2,179	736	33.8%

⇒ 透析患者数＝2022年12月末
（日本透析医学会資料から）

2023年度 決算報告

2023/4/1～2024/3/31

収入の部

単位：円

科目	項 目	2023年度予算	決 算 額	進 度	備 考
会費	1. 会 費 収 入	4,182,000	4,023,900	96%	5,100円×789人
雑 益	1. 協 力 会 費	300,000	240,000	80%	
	2. 補 助 金 収 入	105,000	82,000	78%	
	3. 寄 付 金 収 入	370,000	448,000	121%	
	4. 募 金 収 入	200,000	132,600	66%	
	5. 広 告 収 入	500,000	590,000	118%	
	6. 歳末助け合い義援金	150,000	109,000	73%	
	7. 雑 収 入	100,000	113,333	113%	
	小 計	1,725,000	1,714,933	99%	
当 期 収 入 合 計		5,907,000	5,738,833	97%	
前 年 度 繰 越 金		2,045,051	2,045,051	100%	
合 計		7,952,051	7,783,884	98%	

支出の部

単位：円

科目	項 目	2023年度予算	決 算 額	進 度	備 考
事 務 局 経 費	1. 事 務 局 手 当	2,613,000	2,618,520	100%	
	2. 事 務 局 諸 費	620,000	616,828	99%	
	3. 通 信 費	300,000	266,954	89%	
	4. 新 聞 図 書 費	0	0	0%	
	5. 事 務 用 備 品	385,000	385,000	0%	
	小 計	3,918,000	3,887,302	99%	
会 議 費	1. 県 腎 協 総 会	300,000	320,880	107%	
	2. 全 県 幹 事 会	150,000	72,960	49%	
	3. 運 営 委 員 会	150,000	92,720	62%	
	4. 諸 会 議 費	12,000	11,150	93%	
	小 計	612,000	497,710	81%	
事 業 費	1. 組 織 強 化 費	100,000	20,000	20%	
	2. 移植キャンペーン	10,000	1,300	13%	
	3. 腎臓病を考える集い	30,000	30,550	102%	
	4. 会 報 費	550,000	621,290	113%	
	5. 東北ブロック交流会	100,000	17,993	0%	
	6. 活 動 費	200,000	126,520	63%	
	7. 記 念 事 業 費	100,000	100,000	100%	積立
	8. 青 年 部 活 動 費	30,000	0	0%	
	小 計	1,120,000	917,653	82%	
分 担 金	1. 全 腎 協 分 担 金	1,422,000	1,350,000	95%	1,800円×750人
	2. 身障団体負担金	12,000	12,000	100%	
	3. 募 金 還 付 金	45,000	22,725	51%	
	小 計	1,479,000	1,384,725	94%	
雑 支 出	1. 雑 支 出	50,000	37,965	76%	
	2. 慶 弔 費	30,000	0	0%	
	小 計	80,000	37,965	47%	
予 備 費		0	0	0%	
当 期 支 出 合 計		7,209,000	6,725,355	93%	
次 年 度 繰 越 金		743,051	1,058,529		
合 計		7,952,051	7,783,884		

別途積立金の部

令和 6 年 3 月31日現在（単位：円）

北都銀行	本店営業部	定期預金	1,000,000
秋田銀行	本店営業部 (記念事業費積立金)	普通預金 (271781)	306,092
総 計			¥ 1,306,092

※上記利息については、一般会計雑収入へ

一般会計の部

令和 6 年 3 月31日現在（単位：円）

秋田銀行	本店営業部	普通預金（一般会計） (532520)	571,751
北都銀行	本店営業部	普通預金 (6183385)	52,299
現 金			434,479
令和 5 年度の 総 計			¥ 1,058,529

2023年度（令和5年度）会計監査報告書

〈Ⅰ〉監査の実施

- 当監査は、秋田県腎臓病患者連絡協議会規約第22条および第23条に基づき
2023年度決算（2023年4月1日から2024年3月31日まで）について監査を実施しました。
- この監査は、決算書、帳簿、伝票、証憑書類等の一切について実施しました。

〈Ⅱ〉監査の意見

- 監査の結果、秋田県腎臓病患者連絡協議会の会計処理および手続きは、すべて適正に行なわれていることを認めます。

令和 6 年 4 月 7 日

監 査 佐 藤 圭 介 

2023年度会費納入明細

令和 6 年 3 月末現在

年会費 ￥5,100

	名 称	名簿会員数	納入済会費額	納入済会員数
北 秋・ 鹿 角	か づ の 厚 生 病 院	19	102,000	20
	秋 田 労 災 病 院	15	66,300	13
	大 館 市 立 総 合 病 院	72	397,800	78
	北 秋 田 市 民 病 院	25	147,900	29
能代・ 山本	J C H O 秋 田 病 院	3	15,300	3
	工 藤 泌 尿 器 科 医 院	22	117,300	23
秋 田 中 央	藤 原 記 念 病 院	28	173,400	34
	湖 東 厚 生 病 院	7	30,600	6
	秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー	34	188,700	37
	秋 田 赤 十 字 病 院	28	158,100	31
	秋 田 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	18	107,100	21
	秋 田 南 ク リ ニ ッ ク	12	71,400	14
	市 立 秋 田 総 合 病 院	20	117,300	23
	中 通 総 合 病 院	10	35,700	7
	おのば腎泌尿器科クリニック	39	209,100	41
	いしやま内科腎クリニック	41	214,200	42
	立 木 医 院	43	229,500	45
	さ が 医 院	34	173,400	34
本荘・ 由利	清 水 泌 尿 器 科 内 科 医 院	20	102,000	20
	由 利 組 合 総 合 病 院	34	158,100	31
	き さ か た ク リ ニ ッ ク	1	15,300	3
大曲・ 仙北	大 曲 厚 生 医 療 セ ン タ ー	59	336,600	66
	花 園 病 院	34	214,200	42
	市 立 角 館 総 合 病 院	30	137,700	27
横 手 市	市 立 横 手 病 院	13	86,700	17
	こ は ま 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	8	45,900	9
	平 鹿 総 合 病 院	9	61,200	12
	た か ぎ フ ァ ミ リ ー ク リ ニ ッ ク	6	30,600	6
湯沢・ 雄勝	松 田 記 念 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	17	91,800	18
	菅 医 院	3	15,300	3
	個 人 会 員	32	173,400	34
合 計		736	4,023,900	789

予 算 に 対 す る 納 入 率 → 96.2%
名簿会員数に対する納入率 → 107.2%

2023年度（令和 5 年度）協力会費

令和 6 年 3 月末現在

(単位：円)

	名 称	R 3 年度金額	R 4 年度金額	R 5 年度金額
北 秋・ 鹿 角	か づ の 厚 生 病 院	0	0	0
	大 館 市 立 総 合 病 院	40,000	31,000	23,000
	秋 田 労 災 病 院	2,000	2,000	3,000
	北 秋 田 市 民 病 院	8,000	0	5,000
能代・ 山本	J C H O 秋 田 病 院	0	0	0
	工 藤 泌 尿 器 科 医 院	0	0	0
秋 田 中 央	湖 東 厚 生 病 院	0	0	0
	藤 原 記 念 病 院	24,000	29,000	17,000
	市 立 秋 田 総 合 病 院	6,000	6,000	3,000
	秋 田 赤 十 字 病 院	14,000	12,000	7,000
	秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー	7,000	8,000	8,000
	中 通 総 合 病 院	0	1,000	0
	秋 田 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	4,000	3,000	3,000
	秋 田 南 ク リ ニ ッ ク	9,000	15,000	12,000
	おのば腎泌尿器科クリニック	31,000	21,000	18,000
	いしやま内科腎クリニック	20,000	22,000	11,000
	さ が 医 院	8,000	12,000	10,000
	立 木 医 院	20,000	9,000	23,000
本荘・ 由利	由 利 組 合 総 合 病 院	14,000	16,000	14,000
	清 水 泌 尿 器 科 内 科 医 院	7,000	20,000	5,000
	き さ か た ク リ ニ ッ ク	0	3,000	0
横 手 市	平 鹿 総 合 病 院	4,000	2,000	0
	市 立 横 手 病 院	18,000	12,000	2,000
	こはま泌尿器科クリニック	0	0	0
	たかぎファミリークリニック	—	—	1,000
大曲・ 仙北	市 立 角 館 総 合 病 院	6,000	6,000	15,000
	大 曲 厚 生 医 療 セ ン タ ー	25,000	25,000	25,000
	花 園 病 院	15,000	7,000	7,000
湯沢・ 雄勝	松 田 記 念 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	6,000	5,000	0
	菅 医 院	5,000	3,000	3,000
	秋 田 県 臨 床 工 学 技 士 会	20,000	20,000	20,000
	個 人			5,000
合 計		313,000	290,000	240,000

2023年度（令和 5 年度）寄 付 金

令和 6 年 3 月末現在

名 称	金 額
由 利 組 合 総 合 病 院 様	10,000
秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー 様	10,000
ニ プ ロ 株 式 会 社 大 館 工 場 様	20,000
雄 勝 中 央 病 院 様	10,000
花 園 病 院 様	20,000
有 限 会 社 グ ラ ン デ 様	10,000
立 木 医 院 様	10,000
北 都 銀 行 職 員 組 合 様	20,000
秋 田 県 東 北 電 力 総 連 様	128,000
情 報 労 連 秋 田 県 協 議 会 様	90,000
医 療 法 人 佐 藤 病 院 様	10,000
お の ば 腎 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク 様	10,000
こ は ま 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク 様	20,000
秋 田 南 ク リ ニ ッ ク 様	10,000
市 立 秋 田 総 合 病 院 様	20,000
H A T A I n c 有 限 会 社 様	10,000
連 合 秋 田 本 荘 地 域 協 議 会 様	30,000
市 川 晋 一 様	10,000
合 計	448,000

2023年度（令和 5 年度）補 助 金

令和 6 年 3 月末現在

名 称	金 額
一 般 社 団 法 人 全 国 腎 臓 病 協 議 会 様	82,000
合 計	82,000

2023年度（令和5年度）広告

令和6年3月末現在

名 称	金 額
いしやま内科腎クリニック様	30,000
来 楽 株 式 会 社 様	30,000
飯 島 透 析 ク リ ニ ッ ク 様	30,000
せ い と く 会 菅 医 院 様	15,000
こはま泌尿器科クリニック様	30,000
工 藤 泌 尿 器 科 医 院 様	15,000
本 荘 第 一 病 院 様	10,000
さ が 医 院 様	30,000
秋 田 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク 様	30,000
中 通 総 合 病 院 様	30,000
おのば腎泌尿器科クリニック様	30,000
エ ル ピ ス 株 式 会 社 様	20,000
秋 田 南 ク リ ニ ッ ク 様	30,000
花 園 病 院 様	30,000
清 水 泌 尿 器 科 内 科 医 院 様	30,000
藤 原 記 念 病 院 様	20,000
立 木 医 院 様	30,000
松田記念泌尿器科クリニック様	30,000
H A T A I n c 有 限 会 社 様	60,000
たかぎファミリークリニック様	30,000
株 式 会 社 ヨ シ ダ ア ニ ー 様	15,000
奥羽住宅産業株式会社様	15,000
合 計	590,000

第53次（2023年度）国会請願・署名／募金運動

秋田県腎臓病患者連絡協議会

病院名（団体名）	全					腎				協			
	2019年 署名数 (人)	2020年 署名数 (人)	2021年 署名数 (人)	2022年 署名数 (人)	2023年 署名数 (人)	募金総額(円) (配分率)	募金(全腎協) 15%	募金(秋腎協) 65%	募金(各腎友会) 20%				
か づ の 厚 生 病 院	179	168	65	77	76	5,000	750	4,250	0				
秋 田 労 災 病 院	169	34	60	37	130								
大 館 市 立 総 合 病 院	171	213	170	158	144	10,000	1,500	6,500	2,000				
森 田 泌 尿 器 科	217	174	178	107	—	—	—	—	—				
北 秋 田 市 民 病 院	108	56	307	18	80								
J C H O 秋 田 病 院	0	0	0	0	0								
工 藤 泌 尿 器 科 医 院	50	77	59	72	67	3,000	450	2,550	0				
湖 東 厚 生 病 院	0	0	0	0	0								
藤 原 記 念 病 院	236	175	122	125	164	12,000	1,800	7,800	2,400				
秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー	279	207	196	141	158	4,000	600	3,400	0				
秋 田 赤 十 字 病 院	374	355	376	312	84	3,000	450	2,550	0				
秋 田 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	27	0	24	28	20								
秋 田 南 ク リ ニ ッ ク	75	43	87	127	80	3,000	450	2,550	0				
市 立 秋 田 総 合 病 院	112	84	57	57	51	5,000	750	4,250	0				
中 通 総 合 病 院	63	64	74	63	63								
おのば腎泌尿器科クリニック	290	209	224	115	104	18,000	2,700	11,700	3,600				
いしやま内科腎クリニック	70	69	86	58	45	22,000	3,300	18,700	0				
立 木 医 院	847	498	261	1,024	455	15,000	2,250	9,750	3,000				
さ が 医 院	54	61	104	34	57	10,000	1,500	6,500	2,000				
飯 島 透 析 ク リ ニ ッ ク	52	45	46	0	—	—	—	—	—				
清 水 泌 尿 器 科 内 科 医 院	77	83	95	49	53	6,000	900	5,100	0				
由 利 組 合 総 合 病 院	355	308	249	201	172	10,000	1,500	6,500	2,000				
き さ か た ク リ ニ ッ ク	10	11	0	0	0								
大 曲 中 通 病 院	60	—	—	—	—	—	—	—	—				
大 曲 厚 生 医 療 セ ン タ ー	450	379	424	282	243								
花 園 病 院	225	89	124	118	156	7,500	1,125	4,875	1,500				
市 立 角 館 総 合 病 院	80	70	40	46	87	6,000	900	5,100	0				
市 立 横 手 病 院	128	106	128	27	51	3,000	450	1,950	600				
こはま泌尿器科クリニック	20	0	9	12	7								
平 鹿 総 合 病 院	395	424	401	367	373	2,000	300	1,300	400				
たかぎファミリークリニック	—	—	—	—	5								
雄 勝 中 央 病 院	0	63	0	0	—	—	—	—	—				
松田記念泌尿器科クリニック	33	58	33	39	40	3,000	450	1,950	600				
菅 医 院	14	22	12	6	4	4,000	600	2,600	800				
小 計	5,220	4,145	4,011	3,700	2,969	151,500	22,725	109,875	18,900				
情 報 労 連 秋 田 県 協 議 会	512	524	378	347	289								
秋 田 県 東 北 電 力 総 連	1,430	1,421	1,275	1,270	1,151								
連 合 秋 田	6,796	6,297	7,170	7,015	7,071								
ニ プ ロ ㈱ 大 館 工 場	439	490	500	479	492								
ニプロファーマ㈱大館工場	235	494	457	342	215								
小 計	9,412	9,226	9,780	9,453	9,218								
合 計	14,632	13,371	13,791	13,153	12,187								

2024年度 活動方針（案）

1. 腎疾患対策の推進

(1) 行政への要望

- ①腎疾患対策に関する要望（秋田県）
 - ② 〃 （秋田市）
 - ③ 〃 （大館市）
 - ④ 〃 （鹿角市）
- その他 地域腎友会と実施の検討をする

(2) 腎移植推進キャンペーン、普及啓発活動の推進

- ① 9月末 移植フォーラム（公財）あきた移植医療協会と共催
- ② 10～11月 種苗交換会での展示、啓発活動に参加

(3) 社会貢献活動

「腎臓病を考える集い」の開催 秋田市（12月）

(4) 学習会の開催（地域腎友会単位で開催）

（北秋鹿角・能代地区、その他希望のある地域腎友会）

(5) 国会請願署名・募金運動の強化（11月～12月）

2. 組織強化運動の取組み

(1) 会員の増強

全国の組織率が低下してきており、現在は21.2%（2019年9月）の組織率です。秋田県腎協では、2023年度末では33.8%の組織率と推定されますが、全腎協の趣旨に賛同し、2024年度は50%を目標に会員の増強を図りたいと思います。

【具体的推進方法】

- ・各会員に情報がもれなく伝達できるよう、各病院腎友会の役員・担当者（会長、副会長、会計、曜日別）の確認を4月に再調査します。
- ・入会用のチラシやパンフレット等を作成し配布
- ・入会者への特典（本年度新規会員加入の方）
 - イ、透析をはじめる人のためのガイドブック [500円] の贈呈
 - ロ、元気な暮らしガイドの贈呈
 - ハ、災害手帳の贈呈
- ・会員の入退会（物故者の報告）は、滞りなくお願いします。

(2) 組織対策委員会の活動を継続し、組織強化に努める。

新規会員募集強調月間を年2回設定する（4月～5月、10月～11月）

3. 秋田県内の透析医療状況の把握

透析医、スタッフとの情報交換など

4. 全腎協北海道・東北ブロック交流会及びブロック会議

- ・ブロック交流会in福島（飯坂温泉 すりかみてい 摺上亭 おおとり 大鳥）
7月20日（土）～21日（日）
- ・ブロック会議
 - ① 7月20日（土）飯坂温泉
 - ② 10月19日（土）Zoom

5. 全腎協北海道・東北ブロック青年交流研修会

11月23日（土）～24日（日）秋田市

6. 会員・家族親睦会

7. 広報活動の充実

機関誌「青空」3回発行（4月・9月・1月発行予定）

- ・原稿の依頼をしますのでご協力お願いします
- ・腎友会の活動状況（勉強会、レクリエーション等）の投稿をお願いします
- ・事務局ニュース（随時発行）

8. 災害対策

行政・医療関係者・患者団体の3者懇談会の開催

9. 年間スケジュールについて

- | | |
|-----------|--------------|
| 第52回定期総会 | 4月28日（日） |
| 第87回全県幹事会 | 10月20日（日） |
| 第88回全県幹事会 | 令和7年3月23日（日） |

2024年度 予 算 (案)

収入の部

単位：円

科目	項 目	2023度予算	2024年度予算案	増 減	備 考
会費	1. 会 費 収 入	4,182,000	3,927,000	△ 255,000	5,100円×770名
雑 益	1. 協 力 会 費	300,000	250,000	△ 50,000	
	2. 補 助 金 収 入	105,000	85,000	△ 20,000	
	3. 寄 付 金 収 入	370,000	320,000	△ 50,000	
	4. 募 金 収 入	200,000	150,000	△ 50,000	
	5. 広 告 収 入	500,000	560,000	60,000	
	6. 歳末助け合い義援金	150,000	105,000	△ 45,000	
	7. 雑 収 入	100,000	100,000	0	販売手数料、折込手数料、預金利息
	小 計	1,725,000	1,570,000	△ 155,000	
	当 期 収 入 合 計	5,907,000	5,497,000	△ 410,000	
	前 年 度 繰 越 金	2,045,051	1,058,529	△ 986,522	
	合 計	7,952,051	6,555,529	△ 1,396,522	

支出の部

単位：円

科目	項 目	2023度予算	2024年度予算案	増 減	備 考
事 務 局 経 費	1. 事 務 局 手 当	2,613,000	2,333,000	△ 280,000	
	2. 事 務 局 諸 費	620,000	625,000	5,000	
	3. 通 信 費	300,000	280,000	△ 20,000	
	4. 新 聞 図 書 費	0	0	0	
	5. 事 務 用 備 品	385,000	0	△ 385,000	
	小 計	3,918,000	3,238,000	△ 680,000	
会 議 費	1. 県 腎 協 総 会	300,000	300,000	0	長期記念品代他
	2. 全 県 幹 事 会	150,000	70,000	△ 80,000	
	3. 運 営 委 員 会	150,000	100,000	△ 50,000	交通費日当代
	4. 諸 会 議 費	12,000	15,000	3,000	監査、交通費日当代
	小 計	612,000	485,000	△ 127,000	
事 業 費	1. 組 織 強 化 費	100,000	50,000	△ 50,000	ガイドブック購入、組織対策会議費
	2. 全国キャンペーン	10,000	1,500	△ 8,500	
	3. 腎臓病を考える集い	30,000	30,000	0	
	4. 会 報 費	550,000	600,000	50,000	
	5. 北海道・東北ブロック交流会	100,000	20,000	△ 80,000	福島県
	6. 活 動 費	200,000	165,000	△ 35,000	
	7. 記 念 事 業 費	100,000	100,000	0	記念事業積立
	8. 青 年 部 活 動 費	30,000	30,000	0	
	小 計	1,120,000	996,500	△ 123,500	
分 担 金	1. 全 腎 協 分 担 金	1,422,000	1,260,000	△ 162,000	1,800円×700人
	2. 関 係 団 体 負 担 金	12,000	12,000	0	障害者団体連絡協議会
	3. 募 金 還 付 金	45,000	20,000	△ 25,000	
	小 計	1,479,000	1,292,000	△ 187,000	
雑 支 出	1. 雑 支 出	50,000	50,000	0	郵便振込、送金手数料
	2. 慶 弔 費	30,000	20,000	△ 10,000	
	小 計	80,000	70,000	△ 10,000	
	予 備 費	0	0		
	当 期 支 出 合 計	7,209,000	6,081,500	△ 1,127,500	
	次 年 度 繰 越 金	743,051	474,029	△ 269,022	
	合 計	7,952,051	6,555,529	△ 1,396,522	

秋田県腎協
2024年度（令和 6 年度） 役 員（案）

	役職名	氏 名	所 属	備 考
	会 長	村 越 正 道	立 木 医 院（在宅透析）	
	副 会 長	畠 山 和 明	秋 田 労 災 病 院	組織対策委員長
	副 会 長 副 会 計 部 長	越 高 忠	秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー	
	副 会 長	池 田 仁 之	中 通 総 合 病 院	組織対策委員
	副 会 長	松 橋 文 昭	秋 田 赤 十 字 病 院	組織対策委員
新	事 務 局 長	佐 藤 栄 二	市 立 秋 田 総 合 病 院	
	運 営 委 員 青 年 部 長	五十嵐 亜 希	清 水 泌 尿 器 科 内 科 医 院	組織対策委員
	運 営 委 員	佐 藤 良 仁	いしやま内科腎クリニック	機関誌委員長
	運 営 委 員	保 坂 茂 子	（患 者 家 族）	機関誌委員
	運 営 委 員	筒 井 勇	秋 田 南 ク リ ニ ッ ク	機関誌委員
	運 営 委 員	石 井 泰 晴	移 植	機関誌委員
	運 営 委 員	加 藤 昌 晴	工 藤 泌 尿 器 科 医 院	組織対策委員
	運 営 委 員	八 端 修	藤 原 記 念 病 院	組織対策委員
	会 計 監 査	佐 藤 圭 介	大 館 市 立 総 合 病 院	
	会 計 監 査	佐々木 一	大 曲 厚 生 医 療 セ ン タ ー	

2024年度 スローガン (案)

1. 福祉医療費助成事業「マル福」の継続を！
2. 患者会活動の原点に立ち返り、一人でも多くの仲間に声を掛け組織率向上を図ろう！
3. 県民への腎臓病（CKD）予防啓発活動の推進を！
4. 大規模災害時における透析治療体制作りの推進を！

総 会 宣 言 (案)

昭和46年に結成された秋田県腎協は、多くの先人たちの粘り強い活動と努力により、透析医療と社会保障は著しく向上しました。

いま私たちは、医療費の公費負担を「当たり前」のように受けていますが、この制度は患者会の先人たちが患者の声を粘り強く行政に要望して、ようやく成し得たものであります。

この制度の維持と将来への継続のために、秋田県腎協は毎年、行政への要望活動を行っております。しかし近年、患者の高齢化が著しく、通院をはじめ介護や療養生活に課題が多くなりました。また患者会への入会も少なく、組織率の低下が非常に深刻になっております。このままでは、今ある社会保障制度の後退にもなりかねません。自分には関係無いと無関心である事が非常に問題なのです。

秋田県腎協は、歴史ある活動の成果をより多くの患者に理解と賛同を得られるように、患者会活動について組織を挙げて全力で取り組んでいきます。

私達はこれからも、秋田県腎協の理念である「誰もが、いつでも、どこでも、安心して透析が受けられる」社会を維持するために、組織力の強化と多くの課題の克服に努力してまいります。

令和6年4月28日

秋田県腎臓病患者連絡協議会

透析45年～10年長期表彰者名簿

透 析 45 年 表 彰 者

No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日
1	土 濃 塚 由 美 子	藤 原 記 念 病 院	昭和54年 2月 6日

透 析 35 年 表 彰 者

No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日
1	佐 藤 清 一	平 鹿 総 合 病 院	平成元年 1月10日

透 析 30 年 表 彰 者

No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日
1	長 谷 部 慶 子	大 館 市 立 総 合 病 院	平成 5年 6月14日
2	戸 田 達 也	大 館 市 立 総 合 病 院	平成 6年 1月20日
3	長 谷 山 ア イ	由 利 組 合 総 合 病 院	平成 6年 3月23日

透 析 25 年 表 彰 者

No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日
1	兎 沢 智	か づ の 厚 生 病 院	平成10年 6月 1日
2	佐々木 ヒナ子	市 立 秋 田 総 合 病 院	平成10年 6月 1日
3	高 橋 愛 子	大 曲 厚 生 医 療 セ ン タ ー	平成11年 1月12日
4	藤 田 哲	個 人 会 員	平成11年 1月19日
5	石 井 泰 晴	個 人 会 員	平成11年 2月18日
6	永 井 恵 美 子	秋 田 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	平成11年 3月 9日
7	斎 藤 竜 一	個 人 会 員	平成11年 3月31日

透 析 20 年 表 彰 者

No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日
1	大 野 茂	松 田 記 念 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	平成15年 4月21日
2	滝 田 幸 子	さ が 医 院	平成15年 5月23日
3	信 太 新 一	市 立 横 手 病 院	平成15年 8月 9日
4	柴 田 さ お り	大 館 市 立 総 合 病 院	平成15年12月 3日
5	相 馬 繁	秋 田 赤 十 字 病 院	平成15年12月20日
6	岡 田 敬	秋 田 赤 十 字 病 院	平成16年 1月13日
7	石 塚 せ い 子	中 通 総 合 病 院	平成16年 1月21日
8	三 浦 淳 子	秋 田 赤 十 字 病 院	平成16年 2月 9日

透 析 15 年 表 彰 者

No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日
1	福 嶋 元 之	秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー	平成20年4月3日
2	大 坂 昇	松 田 記 念 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	平成20年4月11日
3	武 藤 恵 子	市 立 角 館 総 合 病 院	平成20年4月14日
4	榮 田 操	藤 原 記 念 病 院	平成20年6月12日
5	竹 村 文 子	大 曲 厚 生 医 療 セ ン タ ー	平成20年7月27日
6	田 村 光 一	大 館 市 立 総 合 病 院	平成20年7月29日
7	井 上 博 孝	秋 田 労 災 病 院	平成20年8月18日
8	松 岡 幸 子	秋 田 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	平成20年9月18日
9	太 田 吉 男	由 利 組 合 総 合 病 院	平成20年11月6日
10	麻 生 正 彦	松 田 記 念 泌 尿 器 科 ク リ ニ ッ ク	平成20年11月17日
11	田 中 昭 彦	秋 田 労 災 病 院	平成20年11月26日
12	齋 藤 邦 子	秋 田 厚 生 医 療 セ ン タ ー	平成21年1月3日
13	山 田 英 二	清 水 泌 尿 器 科 内 科 医 院	平成21年1月18日
14	小 松 和 男	花 園 病 院	平成21年1月25日

透 析 10 年 表 彰 者

No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日	No.	氏 名	腎 友 会 名	透 析 年 月 日
1	鎌田 留勝	秋田南クリニック	平成25年4月1日	14	齊藤 信男	個 人 会 員	平成25年10月8日
2	立花 正子	秋 田 労 災 病 院	平成25年4月12日	15	八端 修	藤 原 記 念 病 院	平成25年11月20日
3	橋本 忠雄	中 通 総 合 病 院	平成25年5月1日	16	倉田 隆一	花 園 病 院	平成25年11月30日
4	神成 伸	大館市立総合病院	平成25年5月22日	17	佐藤作右衛門	秋田厚生医療センター	平成25年12月20日
5	石塚美輪子	秋田南クリニック	平成25年6月1日	18	小林 博実	市立秋田総合病院	平成26年1月1日
6	菅原 学	花 園 病 院	平成25年6月8日	19	熊谷みどり	市立角館総合病院	平成26年1月7日
7	井上田鶴子	かづの厚生病院	平成25年6月10日	20	須藤 美克	さ が 医 院	平成26年1月19日
8	佐沢 基輝	個 人 会 員	平成25年6月11日	21	齊藤 登	藤 原 記 念 病 院	平成26年2月6日
9	佐々木 章	おのば腎泌尿器科クリニック	平成25年6月18日	22	小松 進市	市立角館総合病院	平成26年3月1日
10	幸坂 学	大館市立総合病院	平成25年7月1日	23	安保 駒治	中 通 総 合 病 院	平成26年3月1日
11	佐藤 毅	清水泌尿器科内科医院	平成25年7月1日	24	佐藤 祐昂	市 立 横 手 病 院	平成26年3月5日
12	勝見 善伸	清水泌尿器科内科医院	平成25年7月15日	25	相原 由美	立 木 医 院	平成26年3月31日
13	遠藤 博之	個 人 会 員	平成25年9月9日				

新規会員登録

一二月一日～三月三十一日まで
に届け出あった方々を掲載

おのば腎泌尿器科クリニク

佐藤 高一 浅羽 正幸

田村 司良

さが医院

鈴木 晃治

立木医院

夏井 敏枝 今野 一男

藤原記念病院

内田 幸一

由利組合総合病院

今野 三郎 小番 幸子

猪股 節子

（新しい仲間です。会員の皆さん
どうかよろしくお願い致します。）

「青空」原稿募集

日常生活の中から原稿をお寄せ
下さい。

・私の近況 ・私の趣味 ・写真

・私の日常 ・透析について

・旅行記 ・短歌、川柳 etc

その他、本紙の内容にふさわし
い原稿を常時募集しています。

また、「青空」についてご意見・

ご要望などございましたらお寄せ

下さい。電子メールでの投稿も受

け付けておりますが、その場合は

「青空編集部宛」の旨をはっきり

とお知らせ下さい。

なお、送っていただいた原稿は

原則として返却出来ません。また、

編集の都合上、文の改編・補筆を

お許し願います。悪しからずご了

承下さい。

送付先

〒〇一〇〇九二二

秋田市旭北栄町一―五

秋田県社会福祉会館三階

秋田県腎臓病患者連絡協議会

「青空編集部」宛

メールアドレス

aki-jin@chive.ocn.ne.jp



たかぎファミリークリニック

常識の先にある透析の新時代
皆様を笑顔へ導きます

特徴

- ・送迎透析
- ・院長による細やかな検査・治療
- ・緊急時は院長に電話可能、往診対応
- ・快適な透析環境(ベッドor 快適チェア)

送迎透析

- ・介護経験職員が送迎、家族付き添い不要
- ・少人数ずつの送迎で待機時間が短い
- ・9時以降の送迎（ツライ早朝お迎えなし）
- ・車椅子対応可能
- ・横手市外も送迎対応

まだ少しだけ空き枠あります

☎ 0182-23-6831



院長 石岡 伸規



〒013-0106

秋田県横手市平鹿町中吉田字竹原90―9



たかぎ 透析



青い鳥郵便ハガキの無償配布のお知らせ・ご寄付のお願い

配布の対象	重度の身体障がい者(1 級又は 2 級の方) 重度の知的障がい者(療育手帳に「A」(又は 1 度、2 度)と表記の方)
受付期間	2024 年 4 月 1 日(月) ～ 同年 5 月 31 日(水)まで
配布葉書	(1)通常郵便はがき (無地、インクジェット紙またはくぼみ入り) (2)通常郵便はがき・胡蝶蘭 (無地又はインクジェット紙) ※「くぼみ入り」は視覚障がい者の方が使いやすいように、郵便はがきの表面左下部に半円形 のくぼみを入れ、上下・表裏が分かるようにした郵便はがきです。
配布枚数	お一人に付き上記配布葉書の中からいずれか 1 種類を 20 枚
申出の方法	(1)窓口でのお申出方法 窓口で配布の希望をお申出頂く場合は、最寄りの郵便局(簡易郵便局を除く)に身体障害者手帳又は療育手帳をご提示頂いた上、「青い鳥郵便葉書配布申込書」に必要事項をご記入の上ご提出下さい。 なお、代理の方によるご提出も可能です。申込に必要な用紙は郵便局の窓口に備え置いています。 (2)郵送での申出方法 郵送により配布の希望をお申出頂く場合は、適宜の用紙に「青い鳥郵便葉書配布申込書」と同等の内容を記入して最寄りの郵便局に郵送して下さい。
配布の方法	4 月 22 日以降、最寄りの配達を受持つ郵便局からお届けします。
ご寄付のお願い	青い鳥郵便ハガキをご使用にならない場合は、秋田県腎協にご寄付いただければ、会員の方への連絡用など有効に活用させていただきます。

送付先

〒010-0922 秋田市旭北栄町 1-5

秋田県社会福祉会館 3F

秋田県腎臓病患者連絡協議会 宛

問い合わせ先

秋田県腎協事務局

018-863-6210

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@942tmdst

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



秋田県腎臓病患者連絡協議会

サ高住 らいらっく 外旭川



人工透析で通院されている方も受け入れ対応致します

お問い合わせ

あいさんさん

TEL.018-868-1133

FAX.018-868-6644

〒010-0802 秋田市外旭川字神田112番地

mail:lilac@peace.ocn.ne.jp

ご見学を随時承っております。

運営主体 **来楽 (株)**

秋田市外旭川字神田112番地

TEL. 018-868-1133

【関連事業所】

ショートステイ 美しき郷 30床(秋田市金足)

ショートステイ らいらっく 60床(井川町)

居宅介護支援事業所 らいらっく (秋田市外旭川)

社会医療法人 明和会

申通総合病院

院長 奥山 慎

〒010-8577 秋田市南通みその町3番15号

TEL 018-833-1122 FAX 018-831-9418

ホームページアドレス <http://www.meiwakai.or.jp>

■ 診療科目

内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・
脳神経内科・糖尿病内分泌内科・漢方内科・
腎臓リウマチ科・緩和ケア内科・神経精神科・
小児科・産婦人科・消化器外科・整形外科・脳神
経外科・心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺内分泌
外科・胸部外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽
喉科・麻酔科・病理科・放射線科・リハビリテーショ
ン科・歯科口腔外科・救急科・形成外科

■ 病床数 450床





泌尿器科 内科 泌尿器科(人工透析)

医療法人 飯島透析クリニック

理事長 工藤 茂高

医学博士
日本透析医学会認定 透析専門医
日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医



外来診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:30 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●
午後	14:00 ~ 17:30	●	／	●	／	●	／

※日曜・祝日休診

透析診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	8:30 ~ 13:00	●	●	●	●	●	●
午後	13:00 ~ 17:30	●	／	●	／	●	／

飯島透析クリニック

TEL.018-880-5544 FAX.018-880-5578
〒011-0911 秋田市飯島字薬師田 360 (横山金足線沿い)

<http://www.iijima-dialysis-clinic.jp>
E-mail. info@iijima-dialysis-clinic.jp

社会医療法人 青嵐会
Honjo Daiichi Hospital



救急告示病院

消化器科 外科 循環器科 内科 整形外科 心療内科
婦人科 麻酔科 眼科 皮膚科 脳神経外科 泌尿器科
耳鼻咽喉科

本荘第一病院

理事長 小松 大芽

院長 鈴木 克彦

住所 ■〒015-8567 由利本荘市岩渕下110 電話 ■(0184)22-0111(代)

第一病院訪問看護ステーション・第一病院居宅介護支援事業所
介護老人保健施設グランドファミリー西目・グループホームたんぽぽ西目

泌尿器科・内科・血液透析



立木医院

www.tachiki-clinic.com

〒010-0913 秋田市保戸野鉄砲町11-28

TEL018-866-7722

院長 立木 裕

日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医
日本透析医学会認定 透 析 専 門 医

新国道
いとく
AKT
ハウジング
センター
GS
ローソン
羽後日産
中央郵便局

清水泌尿器科・内科医院



院長 清 水 世 紀

■泌尿器科 ■内科 ■人工透析

診療時間 平日●午前 8 : 30 ~ 12 : 30

●午後 2 : 00 ~ 5 : 00

土曜●午前 8 : 30 ~ 12 : 00

(月・水・金は 14 : 30 ~)

休 診 日 / 日・祝日・入院応需

木・土は午後休診

由利本荘市鶴沼123 ☎0184-22-3100



いしやま内科腎クリニック

院 長 石 山 剛

◎内 科 ◎循環器内科 ◎人工透析内科
◎腎臓内科 ◎糖尿病内科

診療時間

月・火・水・金 午前 9 時～12 時、午後 2 時～ 5 時15 分
木・土 午前 9 時～12 時
休診日 / 日曜日・祝日

〒011-0802 秋田市外旭川字中谷地67-1

TEL 018-869-7807 FAX 018-868-1807

ホームページアドレス <http://www.ishiyama-naika.com/>

●泌尿器科 ●泌尿器科（人工透析）
●皮フ科 ●性感染症泌尿器科 ●内科

医療法人



秋田泌尿器科 クリニック

院 長 能 登 宏 光

診療時間

月・火・水・金	8 : 30～12 : 00	14 : 00～17 : 30
土	8 : 30～12 : 00	13 : 00～16 : 00
休診日	木曜日・日曜日・祝日	

秋田市広面字谷地沖 6 - 1 TEL : 018-889-3220

ホームページアドレス <http://www.akita-hinyoukika.jp/>

泌尿器科・内科・外科

こはま泌尿器科クリニック

院長 小 浜 丈 夫

〒013-0001 横手市杉沢字中杉沢519-1

TEL **0182-35-2666**FAX **0182-35-2663**

快適な透析生活をサポートします。

エルピスの製品は、腎臓機能の低下した方、透析療法を受けている方の栄養補助食品です。

不足しがちな栄養の補給に

水溶性

マルチビタミン
VitaWasser

本品は、透析専門医の指導に基づき、透析患者さんに不足しがちな水溶性ビタミン 9 種すべてを、1 粒にバランスよく配合したビタミン粒です。

内容量：1 粒 300 mg×30 粒



毎日 1 本

エルピス合成
保存料
無添加

栄養機能食品

内容量:50ml/瓶 1日の目安量:1本

販売価格

30 本入り **6,480 円**10 本入り **2,160 円**送料別途
税込

1 日の目安量: 1 粒

販売価格

1 袋 × (30 粒入り) **1,600 円**2 袋 × (30 粒入り) **3,000 円**送料無料
メール便
税込

【ご購入・お問合せ】

**0120-393-578**

【受付時間】平日9:00~17:00

エルピス株式会社<https://www.elpis-net.com>

エルピス 栄養ドリンク 検索



特定医療法人 敬 徳 会

 藤 原 記 念 病 院

理事長 藤 原 慶 正

院 長 白 山 公 幸

〒010-0201 潟上市天王字上江川47 TEL 018-878-3131

〒010-0201 潟上市天王字北野307-55

敬徳会 出戸診療所	TEL 018-878-7710
天王訪問看護ステーション	TEL 018-878-7810
まごころプランステーション	TEL 018-878-6850

医療法人 あけぼの会



* 泌尿器科 * 内 科 * 血液透析 *

花 園 病 院

理事長・院長 寺 邑 敏 彦

日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医

内 科 寺 邑 朋 子

日本内科学会 総合内科専門医

日本透析医学会 透析専門医

日本腎臓学会 腎臓専門医

診療時間

平 日／AM 8：30～12：00

PM 1：30～ 5：00

土曜日／AM 8：30～12：00

午後休診

会 長 寺 邑 能 實
泌尿器科

透析室専用TEL・FAX 0187-63-6550

大仙市大曲あけぼの町9-26(大仙市役所より約500m西)

<http://www.akebonokai.org/>

TEL0187
63-3100(代)

医療法人 祥仁会

内科・泌尿器科・人工透析・入院設備有

秋 田 南 ク リ ニ ッ ク

院 長 木 津 典 久

秋田市南ヶ丘1丁目3番1号 Tel 018-892-7474
Fax 018-892-7475

サービス付き高齢者向け住宅 優希

秋田市南ヶ丘1丁目3番2号 Tel 018-892-7108
Fax 018-892-7109

当院に通院するすべての患者様に
オンラインHDFを提供しております。

診療時間（受付は9時から）

【月水金】 9:30～12:00

14:00～17:30

【火曜日】 9:30～12:00

14:00～15:30

【木土曜日】 9:30～12:00

【外来休診日】

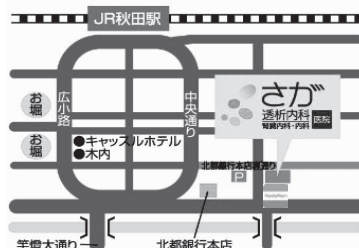
日曜、祝日、年末年始、お盆

※外来の最終受付は月水金曜日は17時、火曜日は14時30分までです。



日本透析医学会 透析専門医
日本腎臓学会 腎臓専門医
日本老年医学会 老年病専門医
産業医

院長 嵯峨大介



〒010-0001
秋田市中通五丁目1-16
さが医院

TEL 018-893-3511

さが医院

検索

<http://www.saga-clinic.com/>

泌尿器科・内科・性感染症内科・人工透析



おのば腎泌尿器科クリニック

院長 佐藤 良延

診療時間

平日 午前 9:00～12:30 午後 2:30～5:30

木曜・土曜:午後休診 日曜・祝祭日:休診

秋田市仁井田字中新田80番地

TEL:018-892-6123 FAX: 018-839-1313

ホームページアドレス:<http://www13.plala.or.jp/onobajin/>

医療法人 尚仁会

松田記念泌尿器科クリニック

理事長 渋谷 彰 良
院長 佐々木 靖 博



〒012-0011

湯沢市森字大島34-1

電話 0183-72-2711

FAX 0183-72-3088

泌尿器科・内科・人工透析
工藤泌尿器科医院

理事長 工藤 茂 宣 院長 工藤 茂 将
 能代市出戸町本町22の28 (ホテルニューグリーン向い入る)
 電話 0185-54-9055 (代)・FAX 0185-54-2863
 《入院患者連絡用》0185-54-4068



医療法人せいとく会

菅医院 内科・外科・泌尿器科・婦人科・人工透析・神経内科

院長 菅 康德 医師 太田 詔
 医師 寺山 靖夫

湯沢市小野字東塚77番地1 TEL 52-2000 FAX 52-2717

介護老人保健施設 ゆーとぴあ神室

施設長 松井 繁和

湯沢市小野字東塚76番地
 TEL 52-5111 FAX 52-5112

菅クリニック 内科・消化器科

医師 佐藤 敏博

湯沢市三梨町字下宿58番地1
 TEL 78-5500 FAX 78-5501



バリトン伊藤さん

住宅リフォームのプロ集団
奥羽住宅産業株式会社

本社：秋田市大町二丁目6-29
 大曲営業所：大仙市佐野町7-5
 横手事務所：横手市神明町2-5
 URL <https://www.o-u.jp>
 フリーダイヤル 0120-444-877



ホームページよろしく!



安心リフォーム協議会会員



一般社団法人あきた太陽光発電協会会員

漏水からあなたの財産を守ります。

**YOSHIDA
ANNY**



株式会社 ヨシダアニー

〒010-1605 秋田市新屋勝平町13-23
 TEL018-864-6961 FAX018-864-6992



めざせ健康寿命日本一



（※地域住民の健康増進に炭酸泉の足湯体験会を開催）

炭酸泉足浴のご紹介 足は第二の心臓

当社は、下肢の血流障害の方に対して人工炭酸泉生成装置HATA Mixer®の足浴を推奨しております。炭酸泉の足浴は足の末梢循環の改善に効果があり、軽症（冷え性）から重症（閉塞性動脈硬化症〔ASO〕）まで広く実施することが可能です。

炭酸ガスを高濃度に溶かし込ませたお湯（36度～40度）で20分程度足浴をします。全身浴を行う医療機関もあります。

HATA Mixer® は医療機関に導入されて 12年目になります。

足梗塞の予防！動脈硬化症、
血管拡張や血流改善に効果的！



透析患者様透析前に血管拡張を目的に炭酸泉の足浴を実施。



透析患者様、寝ながら血流改善に炭酸泉の足浴を実施。



在宅介護の重症下肢虚血の患者様に炭酸泉足浴を実施。

秋田大学医学部心臓血管外科様、秋田赤十字病院・腎センター様、大曲厚生医療センター・人工透析室様、花園病院様、清水泌尿器科内科医院様で利用されております。人工透析、動脈硬化症、重症下肢虚血患者様のフット・ケア効果や感染症対策への効果も確認されております。また、介護、重症児や障害福祉施設でも利用されております。

（※医療機器認定は受けておりません。）



人工炭酸泉生成装置
HATA Mixer®本体

〈次世代特許技術〉



HATA

気液混合装置開発メーカー
HATA Inc. 有限会社

代表取締役社長・開発担当 島 巖
〒010-0001

秋田県秋田市中通六丁目13-2-1402
TEL & FAX : 018-832-7777
<http://www.hatamixer.jp>

★ HATA Mixer® は100%秋田県内で製造、秋田発の製品です。（特許取得済み。）

発行者

東北障害者団体定期刊行物協会
宮城県仙台市青葉区角五郎一丁目二二一六

編集者

秋田県腎臓病患者連絡協議会
秋田市旭北栄町一五（秋田県社会福祉会館三階）

頒価一〇〇円
（会員については会費中に含まれます）